

**研究参加のお願い**  
**当院回復期リハビリテーション病棟へご入院される患者さんへ**

このたび十条武田リハビリテーション病院 看護部では、回復期リハビリテーション病棟へ入院される患者さんの診療情報を用いた研究を実施致します。この研究を実施することにより患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。そして、この研究への参加は任意です。研究参加を望まれない場合は下記の研究責任者までご連絡下さい。研究に参加しないことによって、不利益な対応を受けることはありません。

研究について

1. **研究名：**身体拘束患者における CBA の有用性と関連性について
2. **研究の背景と目的：**回復期リハビリテーション病棟では、高次脳機能障害や認知症患者さんに対し、多職種でカンファレンスを行い、身体拘束具の使用や、身体拘束の解除の共有や評価を行っている。しかし、認知症に関する評価は職種間で異なっているため、評価の共有が難しい現状にあります。そのため、認知症や高次脳機能障害を評価する Cognitive-related Behavioral Assessment(認知関連行動アセスメント以下 CBA)を用いることで多職種で共通した患者さんの認知機能を評価でき、アプローチ方法の見直しや身体拘束解除に繋がると考えています。そこで当院の回復期リハビリテーション病棟に入院する患者さんを対象に、この CBA を用いて各項目の分析や身体拘束の判断に関わる項目との関連性について調査します。
3. **研究の方法：**
  - 1)研究対象者  
2025年4月1日～2025年10月の間に十条武田リハビリテーション病院 回復期リハビリテーション病棟に入院された患者さんを対象とします。
  - 2)研究実施期間  
本研究の実施許可日～2030年4月21日
  - 3)収集データ  
入院時の年齢/性別/主病名/認知症の診断の有無/身体拘束用具の使用の有無/CBA の評価  
これらのデータは、患者さんのカルテ情報から取得させていただきます。
4. **研究に関する資料・情報の開示について：**あなたのご希望があれば、他の参加者の個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画及び研究方法についての資料を開示いたします。研究責任者までお問合せ下さい。
5. **研究成果の取り扱い：**この研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌などに発表する可能性がありますが、発表する場合は研究参加者の方のプライバシーに慎重に配慮しますので、個人を特定できる情報が公表されることはありません。
6. **研究責任者および問い合わせ先：**
  - 1)研究責任者 看護師 久保 静
  - 2)研究組織 医療法人財団医道会 十条武田リハビリテーション病院 看護部  
連絡先 075-671-2351 (当院代表)